

★♥☆♥★♥☆♥★♥☆♥★♥☆♥★

2025年3月1日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 初めの話

永野：皆さん、こんばんは。土曜日夜の『神聖で繋がり合う日』のプログラムを始めます。本日は、樹木との繋がりを意識したプログラムを行なってまいります。

樹木だけではなく、すべての植物に意識があることは、皆様もいろんな方々の植物との交流の体験談や、どこかの国の大学などでの研究成果などで、伝え聞いたことがあるかと思います。

本日は、Zoom 祈りの会に参加しておられる方々の体験談を二つ、ご紹介します。

ある方は、代々木八幡宮に行ったときに、そこにそびえ立つ樹木さんたちを見て、「あなた方はそこにずっと立っていて、動くことが出来なくて、とても不自由してるでしょう？」と、何気なく話しかけたのだそうです。

そうすると、一番近くに立っている目の前の樹木さんが、間髪入れずに、「あなた方にはそう見えるかもしれないけれど、わたしたちは世界中の植物たちと意識で繋がり合っていて、いつでも会話出来るんだよ。わたしたちはそういう『いのちのネットワーク』の中で生きているから、ここに居ながらにして、世界中の出来事を知ることも出来る。だからなんにも不自由してなんかいないんだよ。」と答えてくださったのだそうです。

この体験談は、実は、生命における繋がり合いを思い出せずに不自由していたのは、私たち人間の方だったと、身につまされるお話です。

またある方は、早朝に、いつものように散歩しようと家を出たところ、どこから聞えるのかわからないけれど、たくさんの断末魔の悲しみが感じられて、「なんだろう？」と思いながらザワザワした気持ちで、道を歩いていたのだそうです。

そうしましたら、いつもの河原に差し掛かったところで、雑木林があったところの樹木が全部刈り取られ、建物を作るために造成されている状況を見たのだそうです。

その方は、それを見た瞬間に、「ああ、この悲しみのひびきは、ここに住んでいた樹木さんたちのひびきだったんだ」とわかったのだそうです。

私たち人間は、自分たちを万物の靈長だと独り決めにして、樹木さんを身勝手に刈り取り、道ばたの草さんたちを邪魔者扱いし、生きとし生けるものをしいたげたり、食べ尽くしたりしてきました。

また、野山を削り、海を埋め立て、造成して、空気や水や大地を汚しながら、そこを自分たち人間のための住処として使ってきました。

その結果、地球の自然環境は虫の息の状態になっています。そこに、人間同士の争いの状況も加わって、『世界終末時計』は、残り1分29秒の状況に至ってもいます。

また、私たちの故郷の星である金星が現在の地球のような状況にあったその昔、滅亡寸前の状況のなかで、忽然と進化した星々の宇宙人類が金星の大地に降り立ち、金星の人々に最初に伝えた言葉は、人間

が本来持っている神聖と生命尊厳の大切さ、そして、木を植えることの重要さであった、と伝えられています。

その昔、金星にも干ばつや洪水が頻発し、寒暖の差が激しく、住みづらい時代がありました。その原因是、現在までの地球のように、樹木を身勝手に伐採し尽くして、大地から緑を奪ったからなのだと思います。

今、私たちの地球も、何十億年か何百億年か遅れで、金星が荒廃の中から復興していった道を歩もうとしています。

地球人類が、すべてに宿る神聖を当たり前のように認め、樹木や植物さんたちの大いなる働きに意識を致し、緑を大切にして生きることが出来る時代を現実のものにするために、本日は、樹木の皆さんと意識で繋がり合い、心を一つにして、樹木への感謝をはじめとして、地球世界感謝行を行ない、人類の神聖復活、そしてその先にある山川草木悉皆成仏の、すべてが大調和した地球を甦らせるための、いのちの種を蒔いてまいりますので、よろしくお願ひいたします。

それでは時間になりましたので、初めに世界平和の祈りを日本語と英語で行います。

★♥☆♥★♥☆♥★♥☆♥★♥☆♥★

1. 世界平和の祈り

世界人類が平和でありますように。

日本が平和でありますように。

私たちの天命が完うされますように。

守護霊様、ありがとうございます。守護神様、ありがとうございます。

May peace prevail on Earth.

May peace be in our homes and countries.

May our missions be accomplished.

We thank you, Guardian Deities and Guardian Spirits.

2. Oneness Meditation

私たちは一つに溶け合い、光の輪になった。

We are melting into a circle of light.

世界人類が平和でありますように。

May Peace Prevail on Earth.

★♥☆♥★♥☆♥★♥☆♥★♥☆

3. 金星が今の地球と同じ状況にあったときのお話（朗読）

永野：次は、始まりのお話でも少しお伝えしましたが、金星が現在の地球と同じ状況だったときに、どのようにして立ち直っていったか、どうやって再生していったかが、とてもわかりやすく紹介されているご著書の朗読を致します。今から読み上げる文章は、村田正雄さんの『宇宙人と地球の未来』というご著書の 189 ページから 191 ページまでになります。斎藤さん、よろしくお願ひします。

斎藤：はい、よろしくお願いします。本日は、こちらのご著書から朗読させていただきます。この文章は、Mさんという、村田さんを金星までお連れくださった金星人の方と、靈体で金星の天地に降り立った村田さんの対話形式になっています。それでは、読んでまいります。

【金星の歴史】

Mさん：「金星の歴史については、いずれゆっくりとお話し申上げたいと心得ておりますが、今、あなたがササリーの大農場地帯を見て、調和と秩序が一つになって展開している状態に感嘆の声をもらしておられるのを見て、どうしても金星の歴史を、いえ、その一端でも申上げておかないと（この後の話を）理解して頂けないかと思いまして、そのあらましを申上げてみたいと思います。

あなたが感嘆しておられる金星の天地も、ある時忽然と出来たのではなく、金星とて地球のように、何十億年の年月を経て、荒廃の中から立ち上り、筆舌に尽きぬ苦難の時代を通り過ぎて、現代のような世界に迄昇華してきたのです。それは長い年月と金星人のたゆみなき努力の結晶でしかなかったのです。

みる影もなきまでに荒れ果てた金星の苦難の時代は長く続き、もうこのままでは人類の住む天地に再び戻すことは出来ないと思えたときに、他の先輩星から救世主が現われたのです。

透明に輝く白色円盤と、眼を射るような強烈な光輝の放射に、誰一人としてその前に立ち向う者はなく、多くの従者と共に金星の世界に降りて来て人の神性を説き、人の尊厳さを教え、荒廃した世界の救済のための素晴らしい智恵を授けられたのです。

こうして次第に金星は、昔日の姿に帰りゆくと共に、計り知れない智恵の力が人々の神性を開発してゆき、それと共に素晴らしい科学が育成されて、開発されてゆく神性と相俟って、金星は大転換して（ゆき）、現在の金星の姿となったのでありました。

その昔、荒廃した金星の大地は、到るところはげ山と砂漠のような地に、かろうじて草や木がポツリポツリと散在しているだけでした。

このような地で、救世主たちが先ず最初に人々に教えたのは、木を植えることだったと伝えられております。

樹木の生命も人の生命も、共に大神様から分れ出た生命の現れと教えて、木を育てるとの大事さを、身を以て教え伝えたその指導者のもとで、多くの人達が教育されて、やがてこれらの人達が各地に派遣されて、大衆の指導に当たったと伝えられています。

その時の智恵は今尚生かされて、こうした緑の星に輝く今も、自然と秩序が調和した、ササリーの大農場のような素晴らしい姿として展開しているのであります」

村田さん：「私は五井先生から、金星もかつて地球のような時代もあったと教えられておりましたが、今お教え下さったような、長い苦難の時代があったとは思いもよりませんでした。

その時代の金星の人々の血のにじむような努力の結晶が、素晴らしい農場となって、今尚伝えられている姿は、尊いものであると思えました。

荒廃した山野が緑の星にと変わっていった金星の歴史は、私達地球人に、大きな努力の目

標を指し示して下さっているものと思われて、心の奥からいい知れぬ勇気が湧き上って参りました。

只今、お教え下さったのは、金星の歴史の一端に過ぎないと思いますが、私にとりましては、何物にも替え難い、それはそれは尊い、貴重なお話と承り、確と受け止めて参ります。有難うございました。」

【波動の変化と緑】

Mさん：「この際ですから申添え置きますが、荒廃した金星の天地を救うものは、自然の波動を充分発する緑である、と教えた指導者は、自分も率先して荒野に木を植えて範を示されたのです。

その時代の金星は、寒暑の気温の差が甚しくて、天変地変や洪水の害や、旱魃の被害は大変なものであったのですが、人々はあらゆる苦難に打ち勝って植樹を、そして育成をと、努力を積み重ねていき、緑が増してゆくと共に気温が変り、人々の心がなごんでゆき、緑の持つ自然の同化力に吸収されて、木々の持つ生命を大切にするようになり、樹木に教えられるものがずい分とあったのです。

その内に、洪水も旱魃も次第に少くなってゆき、緑が金星の世界に大きく拡げられていったとき、金星の自然は驚くような変化を起こして、現在のように調和した天地へと変えられていったのでした。

ですから、金星人は、樹木の緑を大切にします。樹木の生命を無駄に断つようなことは、一切行いません。地球世界のような乱伐などが起こることはありません。

先程からご覧になって、金星の山野に大きく伐採した跡などはご覧になられなかっただろう。樹木の持つ自然の緑は、人々に大きな生きた教訓を与えてくれるものと思います。」

斎藤：はい、ここまでです。ありがとうございます。

4. 樹木への感謝の祈り

永野：ありがとうございます。次は樹木への感謝のお祈りです。画面のスライドに出ている言葉を、古賀さんのリードに合わせてお読みください。

古賀：それでは始めます。はい。

人類を代表して、すべてを大調和させる樹木さんの、絶えざるお働きに感謝申し上げます。これまで私たち人類は、樹木さんの大いなるお働きがよくわかっていました。そのために、樹木さんたちを身勝手に伐採し、生態系を狂わせ、気温や天象などでも狂わせてきました。樹木さんたちが、自然環境大調和のための『重要なお働き』を担われていると明確に知った今からは、私たち地球人類は、樹木さんたちと心を一つに合わせ、すべての大調和のために、神聖を発揮して働いてまいります。世界人類が平和でありますように。樹木を司る神々様、ありがとうございます。樹木さんの天命が完うされますように。

古賀：ありがとうございます。

5. 地球世界感謝行

永野：ありがとうございます。次は、動画に合わせて『地球世界感謝行』を行ないます。

古賀：それでは、始めます。

古賀：<動画に合わせて、地球世界感謝行を行なう>

<https://www.youtube.com/watch?v=njBrEZVByDU>

6. 大自然と生きとし生けるものへの光の種蒔き

古賀：はい、ありがとうございます。次は、神聖復活の印を三回組んで、大自然と生きとし生けるものへの、光の種蒔きを行ないます。

永野：それでは、始めます。

大自然と生きとし生けるものに宇宙神の光を送ります。

大自然と生きとし生けるものに宇宙神の光を送ります。

<神聖復活の印を三回>

<そのまま、14秒目を閉じて瞑想する>

永野：はい、ありがとうございます。

7. 人類神聖復活への光の種蒔き

永野：最後は、神聖復活の印を三回組んで、人類の神聖復活のための、光の種蒔きを行ないます。

古賀：それでは、始めます。

人類の神聖復活、大成就。

人類の神聖復活、大成就。

<神聖復活の印を三回>

<そのまま、14秒目を閉じて瞑想する>

永野：はい、ありがとうございます。

古賀：ありがとうございました。

永野：古賀さん、ありがとうございました。

以上